

J R 東海労  
大二運分会

# 交差点

No. 194  
2008年 7月31日  
責任者：高原弘幸  
発行：教宣部

## 大二運分会 第8回定期大会成功裡に開催！

7月28日、東淀川人権文化センターにおいて、第8回分会定期大会を開催し、加藤誠二さんの不当解雇撤回、早期職場復帰を勝ち取るための向こう一年間の闘う方針を確立しました。

大会は、突然の激しい雷雨の中ではじまり、まるで私たち大二運分会組合員の会社からの攻撃に対する怒りの声であるかの様に雷が鳴り響いていました。

雷が鳴り響く中、山本さんを議長に選出し、「加藤誠二さんの不当解雇撤回のため職場で闘う」と力強い議長の挨拶があり、議事が行われました。

来賓には、橋下知事の政権下、給料カット、退職金カットの中、教育現場で先頭で闘いを創られている山北大阪市教職員組合北大阪支部副支部長から連帯の挨拶をいただきそして西労大幹運分会渡部書記長、東海労本部から新たに副委員長に就任した淵上副委員長、高山法対部長をはじめ関西地本、各分会の役員の来賓から挨拶をいただきました。

### 《質議で組合員から出た特徴的な意見は次の通りです》

- ★昨年12月に脱退した自分のことしか考えていなかった入江に対して許されない思いでいっぱいだ。
- ★会社からデッチ上げにより解雇された加藤誠二さんの思いに少しでも近づこうと自分に問いかけ前に向かって苦闘しつつ、今後も民事、刑事裁判に参加して行く。
- ★入換え中の添乗に対して、危険の伴う注意運転の区間であり、添乗者はしゃべるな。
- ★年間休日120日は自分の休みだ。勝手に休日勤務を入れられることに怒り！
- ★助役がミスしたら4日で復帰でき、運転士ならフォロー1科目だけで20日かかる。普段運転していない助役が4日なら運転士みんなが4日ほどで復帰させる
- ★昇給、ボーナスカット、山口さんに対する訓告処分は組織にかけられた攻撃だ。仲間にかけてきた攻撃は自分にかけてきた攻撃であり共に闘う。

**私たち東海労大二運分会は、加藤誠二さんの解雇撤回・早期職場復帰・裁判闘争勝利に向け、職場から「命令と服従」「規律と忠誠心」に基づいた職場支配体制を打ち破るため反弾圧・反処分の闘いと結合し断固闘います！**